



令和6年12月市議会定例会 議案概要書(定住奨励事業)

緑園に輝くまち 多久
～時流を感じる 文教・安心・交流・協働のまち～



令和7年度からの 多久市定住奨励事業

緑園に輝くまち 多久

～時流を感じる 文教・安心・交流・協働のまち～



多久市観光キャラクター『多久翁さん』



多久市定住奨励事業（多久市独自事業）

社会情勢の変化や市民ニーズに対応すべく、2年に1度条例を改正

平成19年度から令和5年度までの
17年間の取り組み

⇒転入促進及び転出防止に効果



多久市定住奨励事業(令和7年4月からの変更点)

- 1 子育て・若者世帯定住奨励金
- 2 親元同居増改築補助金
- 3 空き家バンク利活用補助金
- 4 移住子育て世帯家賃補助金
- 5 新婚世帯家賃補助金
- 6 宅地造成支援補助金
- 7 奨学金返還支援補助金

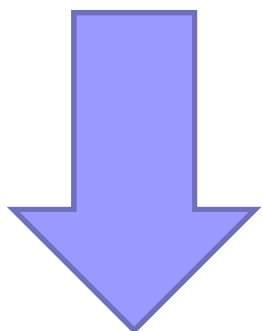




1 子育て・若者世帯定住奨励金

【令和6年度の補助内容】

中学生以下の子がいる世帯または申請者やその配偶者が
40歳未満の世帯の住宅取得に対して補助



対象者の要件緩和



【令和7年度からの補助内容】

18歳以下の子がいる世帯または申請者やその配偶者が
45歳以下の世帯の住宅取得に対して補助



1 子育て・若者世帯定住奨励金

【補助額】

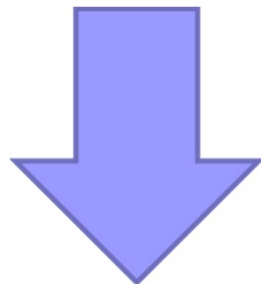
- ・ 定住奨励金 100万円
(30万円→100万円へ増額)
- ・ 転入加算 30万円(20万円→30万円へ増額)
- ・ 転入加算の要件緩和 (転入直前に5年以上市外に居住→転入直前に2年以上市外に居住)
- ・ 地元業者加算 10万円
(上限20万円→上限10万円へ減額)
- ・ 子育て加算 10万円(中学生以下の子1人あたり→18歳以下の子1人あたり)
- ・ 補助金合計額 上限なし



2 親元同居増改築補助金

【これまでの補助内容】

市内に居住している親や祖父母と同居を始めるため、申請者または配偶者の親族（三親等以内）が市内に所有する住宅の増改築に対し補助



利用実績が少ないため

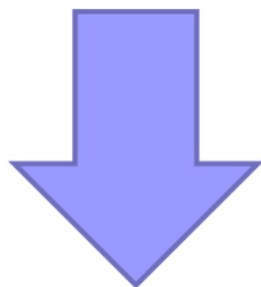
廃止



3 空き家バンク利活用補助金

【令和6年度の補助内容】

多久市の空き家バンク登録物件を購入し、登記と住民登録をした場合、物件購入費と市内外業者リフォーム費用の合計の1/2（上限30万円）を基本額として補助



要件変更

- ・住民登録必要なし（2拠点生活を支援）
- ・基本額より市内外業者リフォーム費用の撤廃

【令和7年度からの補助内容】

多久市の空き家バンク登録物件を購入し、登記をした場合、物件購入費の1/2（上限30万円）を基本額として補助



3 空き家バンク利活用補助金

【補助額】

- ・基本額（物件購入費の1/2）上限30万円
- ・地元業者リフォーム加算
10万円（上限20万円→上限10万円へ減額）
- ・転居加算20万円（新設）
購入した物件に住民登録した場合に加算
- ・補助金合計額 上限50万円（変更なし）

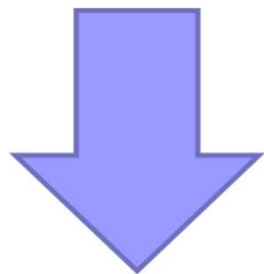




4 移住子育て世帯家賃補助金

【令和6年度の補助内容】

多久市に転入直前に5年以上市外に居住し、中学生以下の子がいる世帯で、民間賃貸住宅に入居した場合、月額最大1万円を最長48月（4年間）補助



対象世帯の要件緩和

【令和7年度からの補助内容】

多久市に転入直前に2年以上市外に居住し、18歳以下の子がいる世帯で、民間賃貸住宅に入居した場合、月額最大1万円を最長48月（4年間）補助



4 移住子育て世帯家賃補助金

【補助額】(変更なし)

- ・基本額 住宅手当を除く家賃負担額の1/2
(最大月額1万円)
- ・補助金上限額48万円 1万円×48月(4年間)

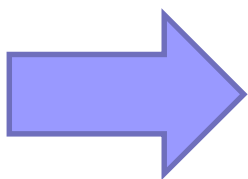




5 新婚世帯家賃補助金

【令和6年度の補助内容】

過去1年以内に婚姻の届け出をし、多久市内の民間賃貸住宅に入居した場合、月額最大1万円を最長48月（4年間）補助



変更なし

【補助額】（変更なし）

- ・基本額 住宅手当を除く家賃負担額の1/2
（最大月額1万円）
- ・補助金上限額48万円 1万円×48月（4年間）

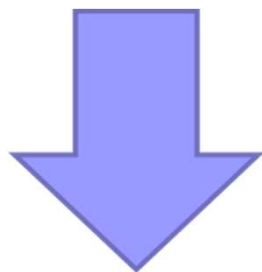




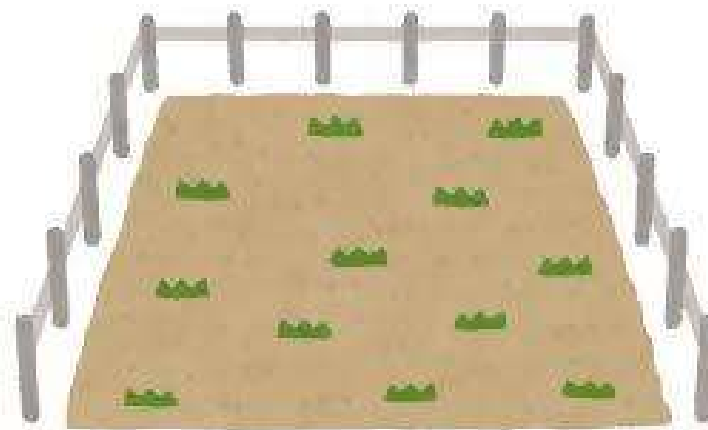
6 宅地造成支援補助金

【令和6年度の補助内容】

事業者が、多久市内で新たに一戸建て分譲用地の宅地開発を行った際に、最大200万円を補助



変更なし





7 奨学金返還支援補助金（新設）

【目 的】 奨学金返還者の就労初期における経済負担を軽減することによって市内への定住を促すことを目的とする

【対象者】 以下の条件すべてを満たす者

- ・大学等に進学し、在学している期間に奨学金の貸与を受け、奨学金を返還している者
- ・市内在住で29歳以下の就業している者
- ・10年以上多久市に居住する意思がある者

【内 容】 奨学金返還実績に応じて補助を行う



7 奨学金返還支援補助金(新設)

【補助額】

- ・奨学金返還額の1/2(年上限12万円)
最高10年間補助
- ・補助金上限額120万円
12万円×10年

